



# 原子燃料工業(株)熊取事業所の 近況について

(平成29年7月以降)

---

平成30年8月7日

原子燃料工業株式会社 熊取事業所



## ρ 生産状況

- 平成29年7月に生産を再開致しましたが、8月10日に酸化ウラン粉末漏えい事象(後述)を発生させました。その後、原因究明・対策のためペレット製造工程を中断しておりましたが、対策実施後の平成30年2月下旬以降、ペレット生産を再開しました。
- 平成30年12月以降に計画する新規制対応工事直前の11月までは、昼夜勤務体制で燃料生産を行う計画であり、現状は予定生産数量(264体)のうち、約40%の製品製造を計画通り完了しております。引き続き、万全な安全管理体制のもと、無災害で生産を進めてまいります。

## ρ 事象の概要

- 平成29年8月10日に、第2加工棟内ペレット加工工程の粉末混合機上に、酸化ウラン粉末が漏えいしました。
- 回収した粉末重量(19.1g)は、法令報告事象( $3.7 \times 10^5$ Bq超、ウラン重量で2.57gU超)に該当すると判断し、原子力規制庁に報告しました。
- 作業者は内部被ばく、身体汚染がないことを確認しました。またモニタリングポスト及び排気用モニタも平常値の範囲内で周辺環境への影響もありませんでした。

## ρ 原因

- 当該設備の閉じ込め機能の設計及び設計管理の不備
- 設備保守管理の不備
- 作業管理の不備

## p 再発防止対策

- 設備設計管理の改善と当該設備の改造
- 設備保守管理の改善
- 作業管理の改善
- 類似設備の総点検

## p 対策の実施状況

- 上記対策を実施し、当該設備の改造工事終了後、原子力規制庁の使用前検査を受検し、平成30年2月23日に合格証が発給されたことより、ペレット工程を再開した。

## ▶ 新規制基準対応への取り組み状況について

○ 平成30年3月28日に加工事業の変更申請について許可を取得しました。今後、工事を開始するための後段の許認可申請準備を進めているところです。

○ 工事内容の例を以下に示します。

- ┆ 地震対策:加工施設の壁補強(竜巻対策含む)や鉄骨部材の補強などの耐震補強を実施します。一部の建物については新設します。
- ┆ 竜巻対策:飛来物が衝突するおそれのある外扉に防護壁、防護柵を設置します。廃棄物缶を専用治具で固縛・連結し飛散防止します。
- ┆ 火災・爆発対策:近接道路でのタンクローリーの爆発を想定し加工棟の壁を増し打ちします。アンモニアガス基地やボンベ庫を加工施設から隔離します。
- ┆ その他:重大事故対策のための資器材や手順書の整備、訓練を実施いたします。

## ▶ 広報活動

○ 一般見学会を実施し、123名の方にご来場いただきました。燃料製造施設のご見学や原子力及び熊取事業所に関するご説明を実施させていただきました。(平成30年4月7日)。

## ▶ その他の活動

- 熊取町主催の「2017環境フェスティバル」にて当社の展示を行いました(平成29年11月19日)。
- 熊取町立熊取北中学校2年生3名の職業体験学習を受け入れました(平成29年11月17日)。